

# 真岡ロータリークラブ(RI2550)ニュースレター この気候変動の危機は狂気だ！

[2014. 2. 26 日付]



2013年11月19日よりワルシャワで、COP19(国連気候変動枠組み条約第19回締約国会議)が開催されました。レイテ島タクロバンを中心にフィリピン中部各所に甚大な被害をもたらした(死者・行方不明者8000人超)台風30号(ハイエン)上陸の3日後です。

会議の冒頭、フィリピン政府代表団のナジネブ サノ交渉官が登壇し、廃墟と化したタクロバンで彼自身の親族も被災し、食料もなく数百体の遺体を不眠不休で埋葬している現状を詳細に報告し、「この気候変動の危機は狂気だ！この狂気を止めよう！このワルシャワで！地球温暖化と自然災害の増加は多くの関連性があり、この会議において何らかの温暖化に対する意義ある枠組み合意が得られるまで自発的に断食する。」と、約17分間涙ながらに訴えました。演説後会場内はおよそ1分間スタンディングオベーションが続きました。—————

東日本大震災の折には、フィリピンからも多数の義援金を戴きました。当真岡市も震度6強の激震により甚大な被害を受けました。(多くのロータリークラブから義援金を戴きました。ロータリーの友情に感謝申し上げます)当クラブ会員の中には、工場が被災し操業停止に追い込まれた者もあります。

この記事を目にした、当クラブ石川久雄国際奉仕委員長が一念発起致しました。タクロバンに行かねばならぬ！早速12月の理事会で了承を取付け会員より義援金を募り12月22日単身渡比致しました。知人縁者をたよりタクロバン入りを目指しましたが叶わず、Rotary Club Pulilan Daiamonds(Bulacan)のJULIETA ESPRITU PONCE 会長に義援金を託して参りました。

PONCE 会長は既に、タクロバンに義援物資を送り込んでおりましたが、我々の義援金と合わせクラブ内で再度募金を集め、1月フィリピン政府の役人と共にタクロバンの仮設テント村に入り、当真岡ロータリークラブの横断幕まで作成頂き、一軒一軒手渡して義援金をお渡し頂きました。報告を受けた石川委員長は今月再度渡比し、PONCE 会長より、横断幕・義援金を受取って頂いた方のサインリスト・百枚以上の写真を受取って参りました。PONCE 会長は、事前に日程を調整できれば、フィリピン政府の担当者と共にタクロバン入りは可能です。是非現状を視察頂きたいとおっしゃっておられました。当クラブ広瀬紀夫会長も行かねばならぬ！と豪語しております。Rotary Club Pulilan Daiamonds の会員の皆さん PONCE 会長本当にお世話になりました。マラミンサラマッポ！

＊大震災は1000年に一度と言われておりますが、巨大台風は年々増加しております。今年も来るかもしれません。しかも一度とは限りません。地球温暖化の問題は、国際ロータリークラブの最優先課題かもしれません。

RI2550 真岡ロータリークラブ 広報委員長 石塚 龍夫

